

15. 令和6年度 山梨県てんかん地域診療連携体制整備事業報告書

山梨大学医学部附属病院てんかんセンター 加賀佳美

令和6年度の活動報告

1. 研修医、専門医への教育活動

山梨大学医学部附属病院 てんかんカンファレンスの開催

以下の通り、山梨大学にてWeb/現地のハイブリット開催を行い、関連病院などからも多数の参加者があり、てんかん専門医育成のための研修もかねたカンファレンスを開催した。

- 1月 VPAを置換した際に発作を繰り返した20代女性の一例
- 2月 ご両親が補完代替医療を希望する18トリソミー児
- 3月 けいれん重積におけるペランパネル静注薬の位置づけ
- 4月 PNESが疑われた1例（ビデオ脳波同時記録）
- 5月 てんかん患者の社会生活
- 6月 VPAを継続している女性の症例
- 7月 怠薬、特にLEVのみ忘れへの対応
- 8月 てんかんを疑われて紹介になったPNESの症例
- 9月 てんかん専門医試験受験体験記
- 10月 日常診療に役立つ、てんかんと脳炎・脳症の最新の知見
- 11月 定型発達の10か月男児：発作間欠期脳波異常を伴わない繰り返すスパズム
- 12月 原因不明の脱力で紹介された症例（ナルコレプシー）

今後も月1回のカンファレンスを行い、山梨県内のてんかん専門医の育成とてんかん関連施設との研修を行っていく予定である。

2. 一般市民への啓蒙活動

・2025年2月8日 てんかん市民セミナー 対面開催 42名の参加があった。

国立病院機構甲府病院小児科の中村幸介先生をお招きし、てんかんの最新医療について理解を深めた。一般参加者から活発な質疑が行われた。

3. 山梨県てんかん地域連携協議会の開催（令和6年2月8日）

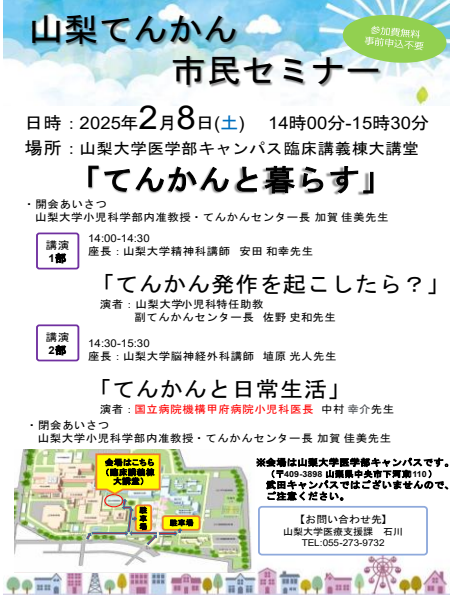
てんかん拠点病院より加賀センター長、佐野副センター長、埴原脳神経外科医師、志村支援コーディネーター、医療関係者として笛吹脳神経外科 上野院長、甲府脳神経外科病院 小林脳神経内科部長、当事者（家族）として、てんかん協会山梨支部代表 葛西氏、県関係機関として富士東部保健所 中根保健所長、事務局らが参加して対面で行われた。

1) てんかん支援拠点病院の活動実績の報告

山梨大学医学部附属病院てんかんセンター（支援拠点病院）より令和6年度の実績について説明した。

2) 昨年の議題を踏まえて令和5年度に行った事業として、救急隊員向けにけいれん・てんかん発作時の救急対応eラーニング資料を作成したことが、山梨大学てんかんセンターから報告された。また、eラーニングを受講した救急隊員へのアンケート結果が事務局から報告された。そのうえで、一部の質問に対して山梨大学てんかんセンターで回答を作成することとなった。

3) 来年度以降の事業として、てんかん患者の就労支援について話し合われた。山梨県における現状について、障害者就業・生活支援センターの新谷氏から説明があった。各委員から意見を集約しつつ、来年度以降の啓発活動などにどのように取り組むべきかについて話し合われた。



山梨てんかん市民セミナー
参加費無料
事前申込不要

日時：2025年2月8日(土) 14時00分-15時30分
場所：山梨大学医学部キャンパス臨床講義棟大講堂

「てんかんと暮らす」
・開会あいさつ
山梨大学小児科学部内准教授・てんかんセンター長 加賀佳美先生
講演1部 14:00-14:30
座長：山梨大学精神科講師 安田和幸先生

「てんかん発作を起こしたら？」
演者：山梨大学小児科特任助教
副てんかんセンター長 佐野史和先生
講演2部 14:30-15:30
座長：山梨大学脳神経外科講師 埴原光人先生

「てんかんと日常生活」
演者：国立病院機構甲府病院小児科医長 中村幸介先生
・開会あいさつ
山梨大学小児科学部内准教授・てんかんセンター長 加賀佳美先生

会場はこちら
（国立病院機構
大講堂）

※会場は山梨大学医学部キャンパスです。
（〒409-3898 山梨県中央町下馬場110）
敷地キャンパスではご迷惑ですので、
ご注意ください。

【お問い合わせ先】
山梨大学医療支援課 石川
TEL.055-273-9732

主催：山梨大学附属病院てんかんセンター（本セミナーは山梨県受託事業によるものです）